

「物価高倒産」 上半期は 34 件発生、 年半期ベースで最多を更新

2025 年上半期は「小売」が 30.3%で最多

東海 3 県・「物価高倒産」動向調査(2025 年上半期)



本件照会先

猿渡 映一(調査担当)
帝国データバンク
名古屋支店 情報部
052-561-4846(直通)

発表日

2025/07/14

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

SUMMARY

東海 3 県(愛知・岐阜・三重)で、燃料や原材料などの仕入価格上昇により収益が維持できず倒産した「物価高倒産」は、2025 年上半期(1 月~6 月)に 34 件発生し、前年同期(33 件)、前期(27 件)を上回り、年半期ベースでは過去最多を更新した。業種別では、2025 年上半期は「小売」が 30.3%で最も多くなり、食材費高騰に苛まれる飲食店などの「物価高倒産」が目立った。

※株式会社帝国データバンク名古屋支店は、東海 3 県(愛知・岐阜・三重)における燃料や原材料などの仕入価格上昇により収益が維持できず倒産した「人手不足倒産」の発生状況について調査・分析を行った。

集計対象:負債 1000 万円以上・法的整理による倒産(2025 年 6 月末時点における判明ベース)

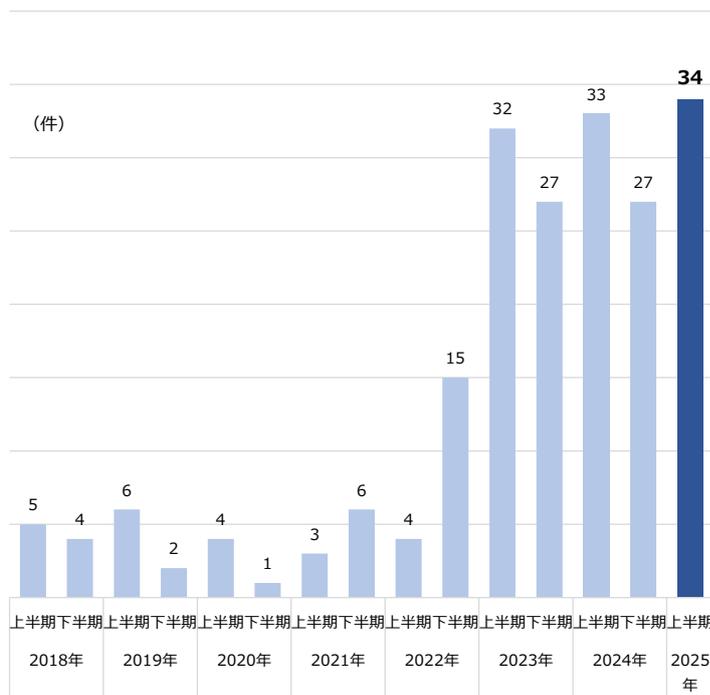
「物価高倒産」、2025 年上半期に 34 件発生

燃料や原材料などの仕入価格上昇により収益が維持できず倒産した「物価高倒産」（法的整理、負債1000万円以上）は、東海3県（愛知・岐阜・三重）で2025年上半期（1月～6月）に34件発生した。前年同期（33件）からは1件、前期（2024年度下半期、27件）から7件増加し、年半年ベースでは過去最多を更新した。

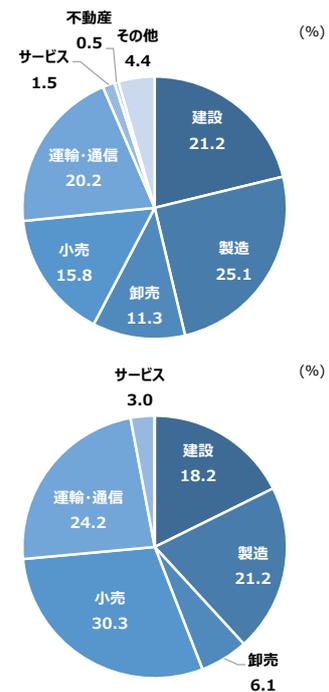
業種別では、統計開始以降の累計では「製造」「建設」「運輸・倉庫」に次いで4番目の「小売」が、2025年上半期に限れば構成比30.3%で最多となった。「飲食店」や「飲食料品小売」が含まれ、食材費や光熱費の高騰が収益を圧迫し、「物価高倒産」増加の要因となっているとみられる。

「物価高倒産」の動向

「物価高倒産」の件数推移（年半年ごと）



「物価高倒産」の業種別構成比
（上段：累計 下段：2025 年上半期）



参考：東海3県別の価格転嫁の実態

「多少なりとも価格転嫁できている」～県別の推移～

	2023年7月	2024年2月	2024年7月	2025年2月	前回比
愛知	74.0	73.9	78.8	77.2	▲ 1.6
岐阜	82.7	75.2	81.4	79.6	▲ 1.8
三重	76.6	78.7	80.3	81.7	▲ 1.4

「価格転嫁率」～県別の推移～

	2023年7月	2024年2月	2024年7月	2025年2月	前回比
愛知	43.0	41.1	42.9	41.7	▲ 1.2
岐阜	48.8	43.0	45.9	40.2	▲ 5.7
三重	47.7	46.2	50.1	46.3	▲ 3.8

帝国データバンク：「価格転嫁に関する企業の実態調査（2025年2月）」より